

## 男子戦評

大会名 第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦

日 時 平成26年11月8～9日

会 場 青森市民体育館

男子決勝（11月9日）

弘前工業高等学校	3	$\left\{ \begin{array}{l} 25-18 \\ 25-18 \\ 26-28 \\ 25-19 \end{array} \right\}$	1	五所川原工業高等学校
----------	---	--	---	------------

ファーストレフリー 津 嶋 由 香  
セカンドレフリー 晴 山 雅 紀

3年ぶり37回目の選手権大会出場を目指す弘前工業高等学校（以下弘工）と3年連続7回目  
の出場を目指す五所川原工業高等学校（以下五工）との対戦。第1セット序盤、弘工はライト佐  
藤にボールを集め、リードする。対する五工は天間のミドルからの速攻などテンポの速い攻撃、  
時間差攻撃で反撃する。10-7、五工は対馬のサーブで崩し2点差に迫るが、弘工は春藤のサ  
ービスエースなどで14-9とする。タイム後、五工は速攻で反撃するも、弘工小笠原（太）の  
角度のあるAクイック、移動攻撃が決まる。終盤、弘工は佐藤にボールを集め25-18で1セ  
ット目を先取した。第2セット序盤、弘工は時間差攻撃、ブロックで3-0とする。対する五工  
は粘り強くボールを繋ぎ反撃するが、6-1とされる。タイム後、弘工はブロック、ジャンプサ  
ーブなどで勢いに乗り、さらに差を広げる。対する五工はミドルからの時間差、速攻で組み立て  
るが、弘工のブロックに阻まれてしまう。中盤、五工はサーブ、ブロックなどで弘工を追撃する。  
終盤、流れをつかんだ五工は工藤にボールを集め20-17とするが、弘工も春藤の時間差攻撃  
などで加点し、25-18で第2セットも弘工が連取した。第3セット序盤、弘工は効果的なサ  
ーブで崩し、小笠原（雄）の速攻や時間差攻撃で組み立てる。五工は速攻、サイドからのスパイ  
クなどで応戦する。弘工リードの11-6、五工はタイムアウトを取る。五工は天間のAクイッ  
ク、サイドから井上、倉光などを使いペースを握る。終盤、弘工は佐藤に集めるが、弘工にミス  
もあり、23-22と五工が一点差まで迫る。さらに弘工は佐藤にボールを集めるが、五工も粘  
り強く繋ぎ、24-24とする。一進一退の状況が続き、五工リードで迎えた27-26、五工  
のダイレクトスパイクが決まり、第3セットは28-26で五工が得る。第4セット序盤、弘工  
はブロックアウトやサーブで連続して得点し、一気に9-3とする。五工は倉光を使い、差を詰  
めていく。中盤、五工は対馬、井上のブロックなどで14-12の2点差まで迫る。さらに五工  
はブロックやブロックアウトで加点し、18-18とする。弘工のタイム後、弘工は小笠原（雄）  
の速攻などがきまり5点差とする。弘工リードの24-19、弘工の速攻が決まり、第四セット  
を得た。弘前工業高校はセットカウント3-1で勝利し、3年ぶり37回目の選手権出場を決め  
た。

戦評者 本間 貴士